

夢の宅配便

小田原市立城山中学校
学年主任 水野喜代治

学活の時間を利用して進路の学習をしていきます。

金曜日の6時間目は学活の時間です。この時間は、遠足や運動会などの行事の取り組みをしたり、学年集会を開いたり、進路の学習をしたりします。4月30日(金)の学活の時間は、進路の学習をしました。3年後にほとんどの生徒が高校に進学します。高校も私立や公立、定時制や全日制など色々な学校があります。近隣では、小田原城北工業高校デザイン科のように、工業デザインを中心に学ぶ学校もありますし、古田島高校の生活科学科では保育や福祉などを中心に学びます。このように、高校といっても学校によってさまざまな特色があります。進路学習を通して、中学校の卒業後の進路を考えていきます。

第一回目の進路学習は、今年度の行事を確認して、中学校1年生の1年間の生活を確認しました。テストが4回あると知って、悲鳴をあげている生徒もいました。進路学習で学習した内容は、学年だよりでも紹介していきたいと思います。

第1号の文集が出来ました！



班になって進路学習をしています(3組)

入学した時の気持ちを短歌で表現してもらいました。五七五七七で、歌を作るのは、むずかしいかなと思いましたが、みんな頑張って1年生らしいフレッシュな歌ができました。入学した生徒の気持ちが詰まった素敵な文集だなと思います。

人の気持ちは、文章に残しておかなければ、消えてしまいます。私自身、中学校1年生の入学の時の気持ちを今になっては、思い出すことも出来ません。気持ちを文章で残すことはとても素敵なことだと思います。色々な機会をとらえて、文集を作っていきたいと思います。保護者の方々も楽しみにしててください。

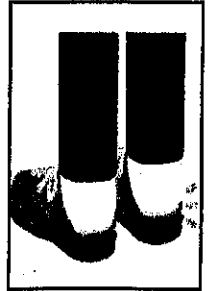
今回の短歌で優秀な作品を教頭先生が選びます。選ばれた生徒は教頭先生と特製紅茶を飲みながらの給食が待ってます。

靴のかかとを踏みつぶさない！

四階に行くときに、1年生の昇降口を通るので、何気に下駄箱を見たら、靴の踵を踏みつぶして履いている靴があった。

靴は踵が大事で、踵を踏んで履いていると靴の形も崩れてしまうし、長持ちもしないです。きっと、脱いだり、履いたりするのが楽なので踵を踏んでしまったと思いますが、踵を踏んだ靴では、走ることもできませんし、つまずいたりして危険でもあります。

私が、子どものころ、ちょっと庭に出る時に、ちゃんと履くのが面倒くさいので、靴の踵を踏んで庭に出ようとすると、おばあちゃんに「靴の踵は踏んではダメだよ」と注意されました。「ちょっと庭に出るだけだから、すぐ戻るから」と言い返して直そうとしなかったら「せっかく、お母さんが買ってくれた靴を、粗末に履いていいのかい！」と強く叱られました。「お母さんを踏んでいるのと同じだよ！そうゆう履き方をするとお母さんが怪我したり、病気になったりしちゃうんだよ」と説教されました。私は、「もう、踵はふまないよ！だから、おかあちゃんは怪我しないかな？病気にならないかな？」と心配になって、おばあちゃんに聞きました。「よかった。よかった。今、踏まないと約束したから大丈夫だよ！怪我も病気もしないよ！」とおばあちゃんがにっこり微笑んで話してくれました。私は、ホッとして靴を履きなおしました。



昇降口の下駄箱に踵が踏まれて置かれている1足の運動靴を見て、おばあちゃんの事を思い出しました。この便りを読んで、踵を踏むのをやめてくれたら嬉しいです。

キヨさんの詩

今日の詩

NO 5

娘の頬に大粒の涙が伝わっていく

「大丈夫だよ！ 気にしなくても」と声をかけるが

涙は止まらない

もう……言葉を見つからず

心配な私は夢中で娘の背中をそつとなでた

泣きじゃくっていた娘がしばらくすると

涙を拭いて「ありがとう」と答えた

言葉より大切なものがあるんだなと思い

「ごめんね」と心で娘につぶやいた